

クオール株式会社（東京都港区）

【調剤事業】

商工会議所のイチオシ

女性の活躍推進

LEADER

代表取締役社長 中村 敬 氏

医療業界はもともと女性の多い職場。女性社員比率は75.5%、管理職に占める女性比率も27.0%と高い。そのため女性社員の業務への取り組みが、会社の経営に影響する。社長の強い意志と共に今年度発足した女性活躍推進事業の目標は管理職の男女比率半々。無理やりの数字合わせとならないよう達成期限は決めていないが、事業発足約半年と思えないほど取り組みの内容の幅は広い。

女性を輝かせることで会社全体を輝かせたい



■背景・きっかけ:

創業初期から企業の社会的責任（CSR）の意識が強く、難病の子どもたちの夢をかなえる募金活動などに参画している。最近、事業に直結した活動に発展しており、その一つが女性の活躍推進であった。医療業界はもともと女性の多い職場。そのため子どもが小学1年末まで育児短時間労働を可能にするなど、女性の働き方に関わる制度については国の基準を上回るものを整えてきたつもりであった。しかし、育短制度整備が必ずしもキャリアアップにつながるものではなかった。そこで女性の働き方をもう一度研究しなくてははいけないと、本年5月女性の活躍推進を考えるL.A.D.Y.S会議が発足した。

■取組内容・効果:

L.A.D.Y.S会議では、特にかかりつけ薬局（地域密着型の調剤薬局）の女性代表者の声を集約したかった。そこで全国8営業所をつなぎテレビ会議で行っている。会議の内容は、育児・介護のための時短勤務などに関する事。最終的にはここでの意見を生かし男女ともに利用できる育児・介護制度を作り上げることが目標である。そもそも、かかりつけ薬局を中心に本事業を進めたのは、地域の子育て世帯に広げたCSR活動にしたかったからである。その思いから生まれたのが子育て大学。本大学は年9回の講座で、地域の子育て世帯に対し、子どもの健康や医療について家庭で対処できる知識を紹介する内容となっている。

このような取り組みを社内全体で共有し、展開できるようにするため社内専用サイトも開設する。本サイト内では、活躍する女性社員の日常を掲載し意識の啓発を図る他、女性活躍推進に関わる制度や取り組みの周知、またそれらに対し問い合わせも受付ける予定。

■今後の展望と課題

女性活躍推進事業に先駆けて、女性社員全員と男性管理職に対し女性のキャリアアップに関するアンケート調査を行った。女性社員からは、育児介護で周りに迷惑をかける不安、男性管理職からは、女性を登用した際他の社員から“女性だから登用されたのでは”と反発を受ける不安が見えた。まだ始まったばかりの本事業。男性社員を含め当事者以外を巻き込んでいけるかが鍵である。



↑本年5月に発足したL.A.D.Y.S会議の様子



↑子育て大学の様子。開講後、順次動画サイトYoutubeにその様子がアップされる
詳細は、<http://www.gol-net.co.jp/csr/information/> を参照



← 女性社員の声から生まれた
マタニティ用の白衣

実践のポイント

- ▶ トップの強い意志と共にL.A.D.Y.S会議が発足。
- ▶ 社内にとどまらず地域に広げた女性の活躍推進。

【企業データ】

代表者	代表取締役社長 中村 敬	会社設立年	1992年	従業員数	2,499人 (男性612人、女性1887人)
本社所在地	東京都港区虎ノ門4-3-1城山トラストタワー37階	ホームページ	http://www.gol-net.co.jp/		
事業内容	調剤事業・BPO受託事業				